

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年12月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690500048
法人名	医療法人 親貴会
事業所名	グループホーム てね (平原)
所在地	鹿児島県いちき串木野市上名5050番地1 (電話) 0996-33-2210
自己評価作成日	令和3年12月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年2月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・H27年4月より敷地内に児童発達支援センターと就労支援施設等の障害者施設が開設し、子供達やサバイバーの方と交流を図っている。
- ・毎朝申し送り時に理念を復唱し、理念に沿ったケアが出来るように取り組んでいる。
- ・年4回のホーム便り(てね便り)発行し、地域の方や家族の方に配布を行っている。
- ・四季の行事を行ったり、年に1回、誕生日の月に本人の要望を取り入れ、家族と話し合いながら、わがままdayを実施したり生活リハを取り入れながら生きがいを見出し、今を楽しく生活できるように支援している。
- ・地域や家族、同法人内施設で協力してペットボトルキャップを収集し、ボランティア活動を行っている。
- ・地域ボランティアによるころばん体操は、コロナ禍の影響により行えていない。コロナ禍が落ち着き、地域の方々と触れ合う事が出来る様になった際には、ころばん体操を再開したいと思います。
- ・介護相談員事業に参加し、毎月1回入居者と話しをして頂き、サービスに関して不安や不満を聞いて頂きサービスに繋がられるように実施している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

平原

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、各フロア毎に掲示されており、定期的に申送り時に職員で復唱するようにしている。理念は、理事長の方針であり職員採用・異動時に月1回の全体会議の中で説明している。		
2		○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方が、野菜の差入やペットボトルキャップ等・資源ごみを利用して回収して下さる。また公民館会員でもあり、公民館活動（行事等）にも要請があれば参加している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の民生委員の方が、認知症で悩んでいるご家族を事業所に連れて来られ、接し方や今後の施設選びなどのアドバイスを行っている。気軽に声掛けできる雰囲気作りもおこなっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月毎の運営推進会議に、麓地区の公民館長や同地区2名の民生委員など積極的に参加され、活発に意見を述べられている。(令和3年9月のみ中止)施設の情報や取り組み方などを、すべてオープンに報告している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	施設長・管理者は、すべての業務に就いているので、施設運営・管理業務がおろそかになりがちである。わからないことがあると、介護保険係の担当者に直接問い合わせしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を中心に、研修会や身体拘束になる可能性について、毎日の業務内で職員全員が意識付けするようにしている。新しいあざ等が見られた場合には、本人・当日勤務していた職員からも聴取し、ご家族にも説明している。アクシデント・インデント報告もあげている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束・虐待防止委員会を設置している。全職員年4回の研修会を実施し、研修報告書も提出している。またコロナ禍の影響により、協会等が実施する研修会も減少しており、今後はオンラインでの研修参加体制づくりを推進する。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度に関して、学ぶ機会を設けている。全体会議等を通じ、職員一人一人が理解するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際、入居者・ご家族に説明し同意を得ている。重要事項の内容に変更があれば、事前に説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご意見箱を、玄関に設置している。面会時に、ご家族からの質問や意見を聞く機会を設けている。施設内で判断できない場合は、法人本部へ報告し運営に反映出来るようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎朝の朝礼や、月1回の全体会議・フロア会議で、提案できる機会を設けている。また個々の面談する機会を設け、意見を聞いている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々の勤務状況を、勤務表や各種届で把握している。また職員の就労に関しては、コロナ禍により親睦会等出来ない状況である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修・法人内の勉強会については、コロナ禍により参加出来ていない状況である。今後は、オンラインでの研修等に参加出来るよう進めていく。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加盟している。同地域の同業者との交流に関しては、コロナ禍の影響により行えていない。必要な情報については、メール・FAX等でのやり取りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や、担当されていた事業所等から情報を頂き、本人が安心して生活が送れるように、関係の構築に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人が入居する際に、ご家族が不安に感じている事があれば職員間で話し合いをし、安心・納得されるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況把握に努め、支援が出来るようにしている。また、ケアプランに沿ったサービスが提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	積極的に、入居者やご家族とコミュニケーションを図っている。また会話の中で、色々な事を学ぶことにより、利用者のご家族との信頼関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>コロナ禍により、出来る事が制限されている。なるべくご家族との時間を設ける事が出来るように、努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍により、面会制限がある。ご家族との面会は電話を使用し、ガラス越しでの会話をしている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う入居者や居室の場所等を考慮しながら、座席の位置など配慮に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>コロナ禍により、お見舞い・面会が制限されているため、ご家族からの電話等で状況把握に努めている。必要に応じて、相談等の支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員が日頃の会話の中で、好きな事・やりたい事を聞き取り記録に残し、情報共有をしている。また居室担当を任命し、より細かい希望や意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントを基に、生活環境を把握している。またご家族の面会時や本人との話の中で、これまでの生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態変化を観察・記録に残し、必要な時には情報交換出来る様に、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のフロア会議で、状況にあったケアを話し合い、職員間で共有している。担当者会議では、ご家族の思い・ご本人の意向や要望を取り入れ、主治医の先生にも助言を頂きながらケアプランを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の様子やケアの実践を記録に残し、日中帯や夜間帯の状況を申し送り時に報告している。またその内容は職員に周知し、その状況に応じたケアが行える様にしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍の影響により、誕生日月のわがままday、ご家族を交えての食事会・外出（墓参り）等、実施出来ていない。施設内で出来る誕生会や、BBQ・近隣へのドライブ等を行い支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	市立図書館を利用し、紙芝居の読み聞かせを行っている。また職員・利用者も一緒に読み手となり、昔を思い出し楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	4週間に1回の定期受診を、行っている。他科受診については、ご家族の要望に沿って受診を行っている。また、訪問歯科の先生に往診を依頼している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>24時間看護職への緊急連絡体制を整え、急変時の対応をしている。日常と違う体調変化が見られた際には、直ちに連絡を取り指示を仰ぎ、適切な医療サービスが受けられる様になっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された際には近況をサマリーにまとめ、情報提供を行っている。入院中は病院へ行き入居者の様子を看護師へ伺い、状態把握が出来るようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>体調が崩れた際には、直ちに医師へ報告し指示を仰いでいる。終末期にかけては、ご家族の意向を尊重し対応に取り組んでいる。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回、消防署員による救命措置の講習を開催していたが、コロナ禍のため見合わせている。その他の勉強会にて対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協体制を築いている</p>	<p>毎回出火場所を変え、年2回の消火避難訓練を消防署立ち合い・自主避難訓練を実施している。実施要項を毎回作成し、全職員へ周知し取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者への言葉使いや態度に留意しながら、対応している。ご本人の意思や希望を尊重するよう、個々に応じた対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の判断ではなく、本人に意思確認をし判断してもらうように支援している。また入浴についても、ご本人の判断で意思確認を行い、ご本人の判断で入ってもらう様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々に合わせた起床時間や食事の好みなど、出来る限り行うようにしている。意欲低下が見られる方に対しては、気持ちに寄り添いながらゆっくり過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人の希望時には、ビューティーヘルパー等に依頼し散髪を行っている。また衣類の選択や季節に合った衣類の交換等、ご家族に協力して頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の食べたい物を聞き、希望に合った食事や行事等で提供している。片付け等、出来る範囲で行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎日記録に残し、一人ひとりの摂取量を管理している。特に水分量が不足している方は、好みの物などを提供し水分量確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は個々に合った口腔ケアを行い、自力困難な方には介助を行っている。口腔内の状況や義歯の状態を確認し、歯科往診の支援を行っている。定期的に義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に合った排泄状態を把握し、声掛けや介助を行っている。またパッド等も個々に合わせ活用し、一人ひとりの力を維持し自立に向けた支援をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常において、水分摂取の声掛けや個々で出来る事・体を動かして頂くなどの声掛けをしている。必要性があれば医師と連携を図り、薬での対応を行い便秘防止に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々のタイミングや体調等に合わせ、入浴を楽しめるように支援している。拒否がみられる方へは職員間で連携を図り、声掛けを工夫して入浴されるように取り組んでいる。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々にて居室やソファで休憩されたり、それぞれが安心して休憩が出来るように取り組んでいる。夜間帯は状況に応じて、衣類や室温を調整行い就寝して頂けるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的・副作用・内容を理解し、服薬の支援・状態変化等に注意している。また、個々の処方箋を保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合った趣味等が出来る様に、取り組んでいる。周りの方と一緒に歌を歌われたり、昔話をされたり、張り合いや喜びのある日々が過ごせるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍により、ご家族との面会や地域の方々との交流が難しい状況にある。天候や入居者の体調に気を配り、施設回りの散歩をしたり近辺のドライブ等に出かけられるよう取り組んでいる。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に生活に必要な金銭を預かり、いつでも対応出来るようにしている。嗜好品等も個人に応じて購入し、楽しませている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話を希望された際には、必要に応じて代行している。また援助が必要な方には、職員が間に入り説明を行い会話出来るよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地良く過ごして頂けるように、空調や照明・温度設定に配慮している。また、音・光・色等で不快を招く事がないように、工夫している。玄関には季節に応じた花等を植え、季節感をあじわってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ストレスを感じないようにソファー等を配置している。一人ひとりがゆっくり過ごせるようにし、入居者同志が会話ができるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の移り変わりを感じられるように、衣替えを行っている。また、本人が使い慣れた物や好みの物を活かして、居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>部屋の位置や間取りに合わせ、家具やベッドの配置を行っている。また居室がわかるように名前を貼っている。導線上に物を置かないように配慮し、自立した生活が送れるよう環境整備に努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない